学校番号	２０２

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共」（実教出版）						
副教材等	「ライブ！公共 2026」（帝国書院） 「公共　演習ノート」（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本と世界の政治・経済について、関心をもち、その社会問題に「なぜ」の視点をもとう。
・主権者としての自立を可能にするために、発問に積極的に答える、意見表明をする、文章にまとめるなどの自分の意見を持ち、また他人の意見に耳を傾け、多面的に考えよう。
・時事問題への関心を高め、当事者という意識をもって、社会問題を考えよう。

２　学習の到達目標

・現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。
・現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。
・自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。また、現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について資料などを用いて理解している。	・現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察する。また、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現し、構想したことを議論したりしている。	・意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付ける。また、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代の社会と人間	1　青年期の自己の形成 第１章　社会を作る私たち ①青年期とは ②自己形成の課題 ③職業生活と社会参加 ⑤伝統・文化と私たち 第２章　人間としてよく生きる ①古代ギリシアの人間観 ②科学と人間 ③自由の実現 ④社会を作る人間 第３章　他者と共に生きる ①人間と幸福 ②公正な社会をめざして 第４章　民主社会の倫理 ①人間の尊厳と平等 ②自由・人権と権利・義務	a：現代の経済社会における企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働きなどについて理解し、その知識を身に付けている。 b：学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味について自らの人生とかかわらせながら多面的・多角的に考察し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて社会生活の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、考察した結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c：青年の生き方に対する関心を高め、生涯における青年期の意義と自己形成の課題を意欲的に追究し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検（ノート、ワークシート等）	記述の点検（ノート、ワークシート等） 行動の観察

2学期	よりよい社会の形成に参加する私たち	第１章　日本国憲法の基本的性格 ①日本国憲法の成立 ②日本国憲法の基本的性格 ③自由に生きる権利 ④平等に生きる権利 ⑤社会権と参政権・請求権 ⑥新しい人権 ⑧平和主義と我が国の安全 ⑨こんにちの防衛問題 第２章　日本の政治機構と政治参加 ①政治機構と国会 ②行政権と行政機能の拡大 ③公正な裁判の保証 ④地方自治と住民福祉 ⑤政党政治 ⑥選挙制度 ⑦世論と政治参加	a:日本国憲法の成立過程や国民主権、基本的人権の尊重、平和主義、日本の政治機構に関する知識を身に着けている。 b:人権保障の憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の望ましい在り方を多面的に考察し、その考察過程や結果を表現している。 c:国会、内閣、裁判所や地方自治に関する情報を新聞などのメディアを通じて収集し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検（ノート、ワークシート等）	 記述の点検（ノート、ワークシート等） 行動の観察

3学期	国際社会と人類の課題	第１章　国際政治の動向 ①国際社会と国際法 ②国際連合と国際協力 ③こんにちの国際問題 ④人種・民族問題 第２章　国際経済の動向と国際協力 ①貿易と国際収支 ②外国為替市場のしくみ ③第二次世界大戦後の国際経済 ④地域的経済統合の進展 ⑤国際経済のつながりと課題 ⑥発展途上国の諸課題と日本の役割 第３部　持続可能な社会づくりの主体となる私たち	a：経済の国際化、労働力・資本・技術・情報などの地球規模での移動や貿易の拡大と不均衡、南北問題などを理解し、その知識を身に付けている。 b：冷戦終結後の国際経済に関する諸問題から課題を見いだし、国際的な経済協力の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の責任と役割について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c：冷戦終結後の国際政治に関する諸問題に対する関心が高まり、国際平和の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について意欲的に考察し、国際社会における日本の責任と役割について考えようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト 記述の点検（ノート、ワークシート等）	 記述の点検（ノート、ワークシート等） 行動の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度